

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

すべての園児・児童・生徒に15年間の連続した「学び」を保証するために、地域の力を活用しながら学校園の教育活動を支援する。また、学校園を核とした地域コミュニティの活性化と、地域の教育力を高めるための協働により、地域に園児・児童・生徒が活躍できる場を作ることによって「自己有用感」の育成を図る。

【今年度の取組紹介】

今年度も新型コロナウイルス感染症の防止対策を行いながらの開催でしたが、様々な事業を以前の活動に近い形で実施することができました。

SAKURA夢フォーラムでは昨年度は一部オンラインでの配信になりましたエニアグラム講習を対面で行うことができました。

SAKURA夢フェスタでは玉城ちはるさんの「命の参観日」を体育館に中学生全員が揃って鑑賞することができました。また、学校園・地域の方々の協力で模擬店や恒例の綱引き大会も復活することができました。

SAKURA夢スクールも英会話・編み物の2講座を実施することができました。



【今年度のまとめ】

コロナ前に行われていた全ての事業を以前とほぼ同じ形で実施することができ、地域の多くの方々が参加してくださり、つながることの大切さを改めて感じることができました。

【来年度に向けて】

- コミュニティールームを活用して地域人材の協力をいただき、不登校や学校生活に入りにくさを感じている生徒に生活リズムを作ることや、教室へ入っていく前段階としての居場所づくりを検討しています。
- 各学校園で協力いただいているボランティア人材を中学校区の地域全体で活用できるような基礎をつかっていきたいです。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

自己有用感を育成し高めることで、学習への意欲回復・基礎学力の向上と規範意識の育成につなげる。

【今年度の取組紹介】

「地域に開き、地域と共につくる学校」をテーマに様々な活動を計画しておりました。今年度からはいよいよ様々な規制が緩和され、本格的に様々な活動を再開することができました。その結果、これまでの活動に今年度の活動が重なり、生徒と地域の方々との絆がより一層育まれることになりました。これは、生徒たちへのアンケートからも「地域とのつながり」を高く意識しているという回答をたくさん得ていることから、その事実が裏付けられました。

図書館運営においては、継続的に地域ボランティアの方々による協力をいただき、読書推進活動がすすみました。今年度からは、生徒の自由な図書室利用が再開し、それに向けた安心・安全な図書室へのレイアウト変更と運営を行っていくことができました。

**【今年度のまとめ】**

今年度はようやく本格的な活動の再開にこぎつけることができ、スローガンである「地域で子どもを育てる」という地域の方々とともに取り組むシーンを校内で見ることができました。そのようなシーンを見るにつけ、改めて地域の方々の存在の大きさや交流の大切さを再認識する一年となりました。

【来年度に向けて】

今年度、ようやく一部ながら本格的な活動を再開することができました。来年度からはさらに積極的に活動を再開し「地域に開き、地域と共につくる学校」のテーマにそった事業を推進していこうと考えています。地域の人に学校へ足を運んでもらう取組を継続しながら、その中で地域の方々との触れ合いを通じて、生徒たちが「自己有用感」を感じ、さらには地域の一員としての認識の向上や規範意識の醸成につながればと考えています。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かでたくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- ともに汗して働くことのできる子ども

取組目標

地域と学校が連携して学習環境の整備に取り組み、子どもが地域の一員であることを自覚し、地域に誇りをもって生きようとする姿勢を育む。

【今年度の取組紹介】

本校の地域の方々は「子どもは地域で育てる」ということを大切にしており、学校・地域・家庭が連携・協働して事業を進めています。

○菜の花プロジェクト

今年度も地域の方との協力のもと、菜の花プロジェクトをすすめることができました。地域の方と協力して、昨年度に植えた菜の花を6年生が収穫し、搾油をしました。搾った菜種油は、5年生が世界遺産学習の際に春日大社と興福寺に奉納しました。そして5年生は来年収穫することになる菜の花を植えました。学年をまたいで活動が続いていきます。

○縦割り活動

今年度は、学年をまたいで班を作り、一緒に遊んだりサツマイモの栽培を行ったりしました。栽培活動の指導に地域の方に関わっていただき、一緒にサツマイモを収穫し、焼き芋づくりを行いました。次年度もまた、活動が続けていきたいと考えています。

○講話による学習

今年度、多くの講師の方に来ていただき、命の学習や地域の歴史の学習、生き方や出会いについての学習などの講話をしていただきました。お話を真剣に聞き、いろいろなことを学ぶことができた良い機会となりました。



【今年度のまとめ】

今年度は、コロナ禍から明け、少しずつ活動を増やしていくことができました。体験活動を取り入れたり、講話を聴く機会を増やしたり、学年をまたいでの活動を行ったりと、コロナ禍ではできなかった活動ができ、子どもたちの学習機会となりました。地域の方に関わってもらうことで、地域とのつながりについても実感することができました。

【来年度に向けて】

来年度は今年度の活動の取り組み方について検討し直したり、新しい活動を模索したりすることが必要だと思います。これまでのよさを踏襲しつつ、新しい取組にもチャレンジしていきたいです。

めざす子ども像**みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども****「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども****感性豊かで、たくましく自立する子ども****地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども****共に汗して働くことのできる子ども****取 組 目 標****活動の中で子どもたちが地域とのつながりも感じられるような地域と密に連携した環境整備、学習支援活動の取組の充実****【今年度の取組紹介】**

<読書力向上事業> 今年度もコーディネーターを中心に、年間を通して計画的に朝の読み聞かせを実施できました。読み聞かせの時間を児童らは大変楽しみにしており、終わった後に図書室へ同じ本を借りに行く児童の姿も見られました。同シリーズの本を購入したと報告に来てくれた児童もあり、読書活動推進に確実に繋がっていると考えます。地域の方の中には担任よりも上手に読み聞かせを行う方もいて、「本の世界に引き込まれた。」と担任の先生から報告も。学力向上の観点において意味のある活動であると同時に、地域の方との繋がりもできました。

<児童の安全確保事業> 児童の安全な登下校を実現するためには、地域の方の協力なしでは、実現不可能です。今年度もたくさんのボランティアさんが参加し、登下校の見守り活動をしていただきました。学期の終わりには、地域の方へ感謝の気持ちを伝えるための手紙を渡しました。

<環境整備活動事業・地域交流事業 FURUSATO MIRAI MEETING事業>

環境整備活動事業では、植栽活動、校舎玄関等の飾りつけなどのほか、地域の方と草刈りをしたり、学校の木々の枝打ちで出てきたものを図工で活用したりもしました。地域交流事業では、野菜作りやさつま芋も掘り、近隣の川の調査、生き物の飼育・鑑賞(メダカなどの生物は地域の方が寄付)など地域と子どもたち、学校職員をつなげる活動となりました。また、コロナ前から実施できていなかった地域行事である「千本づき」の餅つき行事を再開しました。地域の方に昔の辰市校区や千本づきについて講演をしていただいた後、餅つきを行いました。地域の方と児童らが餅をつき、地域の方にこねてもらい、教室で食べました。大変好評で、地域に活力を与えることができたと考えています。また、伝統行事を児童らにも引き継ぐ良い機会となりました。昔から辰市校区で引き継がれてきた餅つきの歌を録音し、音楽の授業でも取り入れていきます。



【今年度のまとめ】 今年度は、コロナ禍によりできなかった地域行事を行うことができました。冬のつどい(地域伝統手法である千本づきでの餅つき)や防災教育活動などです。地域連携で行ったこれらの活動は、辰市小のめざす子ども像である「人権を尊重し、社会に出て、たくましく生きる子どもの育成」につながるものであり、取組の意義を感じています。活動を継続し、充実した取組とするためには、地域で決める学校予算事業の予算は必要不可欠なものであり、今後も適切に計画・実施し、有効活用していきたいです。

【来年度に向けて】 事業についての見直しをはかり、地域人材の枯渇解消に取り組む意味で、地域住民と子どもたちで校区のキャラクターを作成し、様々な活動に関連づけていくことを考えています。少しでも地域人材を増やし、本事業に賛同いただき、児童らと繋げる役割を担えればと思っています。学校が地域の拠点となり、地域活性化となる事業を行う中で、地域・保護者・教員が一体となり、児童の育成を行うことが理想です。そのために、学習支援活動や環境整備を継続して実施し、地域の魅力的な人と子どもたちを繋げ、辰市小学校運営委員会が目指す子ども像に来年度も迫っていきます。

めざす子ども像

みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども

「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども

感性豊かで、たくましく自立する子ども

地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども

共に汗して働くことのできる子ども

取 組 目 標

地域の教育力を活用し、継続性をもって学習環境や学習体験を豊かにしていく事業を目指す

【今年度の取組紹介】

今年度も地域の方々の多くの協力を得ながら、様々な取組を行いました。「学ぶ力」、「生きる力」の育成に向けては、たくさんの方々に来校いただき実践を重ねることができました。毎年恒例となった「いもほり体験」、「福祉体験」、「地域防災学習」、「家庭科の学習」、「本の読み聞かせ」などを継続するとともに、新たな要素も加えていきました。「福祉体験」については、車いす体験学習やボッチャ体験を行うとともに、限られた時間の中で、多くの体験を子どもにさせたいという思いの中、ボッチャ体験のブースを増やし、地域の方々とボッチャを楽しむことができました。また、ブラインドサッカーのブースもつくり、簡単にその要素にも触れることができました。

今年度については、学習環境を整えることに重点を置くことができました。地域の方々の協力を得て、子どもたちの委員会活動や生活科などの時間に合わせ、学級農園やその周囲の環境について整えることができました。また運動場の整備においても、委員会活動に合わせた準備、活動等のコーディネートいただき、限られた時間の中でできることを地域の方々とともに協働しながら、よりよい明治小学校をつくろうとする子どもたちの姿を見ることができました。

**【今年度のまとめ】**

地域の方々と子どもたちが共に活動する機会をたくさん設定することで、子どもたちは地域の方々と親しみをもって触れ合い、様々なことを学ぶことができました。子どもたちは地域の一員としての自覚と誇りを持ち、自尊感情を高める取組につながりました。今後も学校と地域が連携を図ることにより、子どもたちが自己肯定感を持てるような取組等を更に進めていきたいと思っています。

【来年度に向けて】

引き続き、地域との連携を深め、新たな取組と人材発掘に努めるとともに、「地域と共に歩む学校」をめざして取組を進めてまいります。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

豊かな感性をもち地域とともに主体的に生きる子どもの育成

【今年度の取組紹介】

帯解小学校では、地域の方をゲストティーチャーとして招き、地域の方と共に活動したり、学んだりする取組を栽培活動や体験・交流活動、聞き取り学習として長年取り組んできました。本年度より、コロナウイルスも第5類となって大半の活動が再開しましたが、この3年間で止まっていた事業をそのまま復活させるのではなく、内容や事業の精選を図りながら実施をしてきました。

図書ボランティア「みなくる」さんによる「本の読み聞かせ」活動では、月に1度全校や学年に絵本の読み聞かせをしてくださり、子ども達の読書推進に貢献してくださっています。5年生における栽培活動においては、地域の方からお借りした田で、実際に初まきから田植、秋には稲刈りの体験をさせていただきました。身近なお米の栽培に関わり、地域の方とつながることで、地域の良さを知り、感謝の心が育まれています。また、秋のもちつき大会には、地域や保護者の方に多数ご参加いただき、地域の連携を深めたり、地域の方々の知恵を



いただく貴重な機会となっています。こうした地域学校連携は、児童の豊かな感性の育成につながっています。今後も『市民と協働した教育を進める』『30万人の市民を先生に』という奈良市教育振興基本計画の基本方針実現ために、さらに地域の方と子どもたちがつながり、学びの輪が広がることを願って取組を進めています。

【今年度のまとめ】

本年度も、本校の特色でもある地域の方に学ぶ聞き取り学習や体験・交流学習・栽培活動を実施してきましたが、毎朝の登校見守りや上記活動で児童が地域の方と関わる中で、学校だけでは学べない体験をし、豊かな感性や郷土愛の育成につながりました。地域の方との活動は、学校評価において、児童・保護者共に94.8%の肯定的な回答を得ました。学校教育の様々な場面で地域の方に見守られ、支えられながら地域の歴史を知り、地域に愛着をもつ子どもたちの育成を目指しました。

【来年度に向けて】

来年度も精華・帯解両地区の特色を生かした取組を大切にしながら、地域で学んだことを誇りに思う児童の育成と、豊かな感性をもち主体的に生きる子どもの育成を目指していきたくと考えています。また、取組の内容を多くの方に知っていただき、さらに継続・発展くさしていくために広報にも力を入れていきます。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども**
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども**
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども**
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども**
- 共に汗して働くことのできる子ども**

取組目標

地域に開かれたこども園をめざし、豊かな心とたくましい体を育む

【今年度の取組紹介】

5月、山町地域環境保全協議会、そして地域の方にご協力いただき、5歳児30名がサツマイモの苗を植えました。たくさんあった苗でしたが「みんなで植えるとすぐに終わったね」と満足気な子ども達でした。秋、長く伸びたツルの先に期待を膨らませ、地域の方に手伝ってもらいながら掘り起こしました。園に持ち帰ると掘り起こしたサツマイモの数を数えたり絵をかくしたりして、収穫した喜びを友達と共有していました。焼き芋パーティでは、朝早くから準備をして下さり、子ども達は煙がもくもくと上がるもみ殻の中に、自分たちで洗ったり包んだりしたサツマイモを入れ、焼き上がるのを楽しみにしていました。焼き立てのおいしさを味わう嬉しい体験ができました。

また、年間を通して畑の先生として地域の方に来ていただき、子どもたちと畑づくりや種まき・苗植え、畑の世話の仕方を教わりながら、玉ねぎ・ナスビ・パプリカ・ブロッコリー・白菜など、季節の野菜を育てて収穫する中で、生長の喜びや収穫への期待、そして、食への意欲などにつながる豊かな心の育ちの経験となりました。

**【今年度のまとめ】**

コロナ感染症が5類に移行後、地域の方の様々な協力や支援のもと、昨年以上に経験や体験を積み重ねることができ、地域の方に親しみをもつなど、人とのつながりが豊かになっていることを子ども達の姿から実感できます。年間を通して野菜や花などに関わることは、すべての生き物の生長に対して子どもも職員も見通しをもつことができ、小さな変化や喜びを感じるなど豊かな心の育ちにも繋がっていると感じています。

【来年度に向けて】

地域や保護者の方の協力を得ながら、子どもたちの学びや育ちにつながるような多様な経験と地域の方とのつながりを大切にしつつ、情報発信もすることでこども園の教育・保育への理解を更に深めていただき、地域に開かれたこども園として事業を進めていきたいと思っております。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

- ・ 地域との関わりを通して、お互いを認め合い、助け合い思いやる心を育てる。
- ・ 地域の良さを生かした、豊かで多様な体験をしながら、生きる力の基礎を培う。

【今年度の取組紹介】

菜園活動事業として、サツマイモの苗を子どもたちが植えました。農業栽培経験豊富な地域の方に教えていただきながら、友達と一緒に植えることを楽しみました。「おいもって、どこにできるか知ってる？」の問いかけに「土の中でしょ。絵本で見たもん。」と答えた子どもたちでしたが、収穫の日まで楽しみにしている様子でした。収穫の日、畑はツルだらけでしたが、そのツルを友達と綱引きのように力を合わせて引っ張ったり、地域の方に手伝ってもらったりしながら、たくさんのサツマイモを掘り起こしました。数を数えたり、大きさ比べをしたりして、収穫をみんなで喜び合いました。後日、そのサツマイモを使って『やきいも大会』をしました。子ども達はサツマイモを洗ったり包んだりし、地域の方も一緒に準備や手伝いをしてくださいました。ほっかほかに焼けた焼きいもに大歓声があがり、みんなでおいしくいただきました。そして、その焼きいもを年下の友達にも届けてあげたいと、みんなで届ける優しい一面も見られました。苗植えから収穫して食べるまでの継続した経験ができました。



防災活動事業では、地域の女性防災クラブの方々を講師に迎え“防災教室”を実施しました。命の大切さ、地震・火事等が起こった際にどうすればいいか、ペープサートや紙芝居を使って教えてくださいました。いつ起こるか分からない災害に備えて、子ども達は分からないことをたくさん質問していました。また、交流の機会として、一緒に季節の花を植えました。優しく一緒に花を植えてくださる姿に、親しみの気持ちを持ち、豊かな学びとなりました。



【今年度のまとめ】

地域の方々と触れ合いながら「和太鼓教室」「菜園活動」「防災教室」等様々な体験を通して、みんなと力を合わせることで、自然の恵みを感じることで、思いやりの優しい気持ち等を育み、心を豊かにすることが出来ました。地域の方々と共に活動することは、人と人との繋がりから、地域の方に親しみを抱き、自分達が生活している地域を身近に感じ、感性を豊かにする経験に繋がったと思います。

【来年度に向けて】

保護者や地域の方と共に活動を進め、今までの活動を継続したり、新たな事業も検討したりしながら、様々な人との関わりを大切にして、地域に親しみをもち、地域を大切にする気持ちを育てていきたいです。また、ホームページ等啓発方法を工夫し、こども園の教育・保育内容への理解を深めていただき、開かれた地域のこども園になっていきたいです。

めざす子ども像 ○みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども ○「学ぶ力」「生きる力」を身に付け、生活や将来に活かせる子ども ○感性豊かで、たくましく自立する子ども ○地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども ○共に汗して働くことのできる子ども

取組目標 地域の教育力を活かした取組の中で、一人一人の笑顔が輝き安心して園生活を送れるようにする

【今年度の取組紹介】コロナ禍以前の子育て支援事業の一環として行っていた楽器演奏会に、ゲストティーチャーとして“ヒョーコマーズ”のお二方に来園いただきました。事前に、演奏会のことを子どもたちに伝えたことで、当日に期待を持ち「誰が来るのかな」「何をしてくれはるんやろう？」と楽しみに待つ姿につながりました。演奏会は、リズム室の倉庫に隠れておられたゲストティーチャーが、手作りのひょうたん楽器を鳴らしながら登場して始まり、一気に子ども達は心をつかまれていました。ヒョーコマーズさんは、演奏会を楽しめるように、一人一人の顔を見ながら歌ったり鳴らしたりしてくださいました。演奏や歌に合わせた手遊びや動きを組み入れたり、ひょうたんの生長をエプロンシアターで見せてくださったりしたことが、演奏を落ち着いて聞く態度や、ひょうたん楽器の不思議さやおもしろさを知ることにつながったと感じました。また、楽しく笑顔で子どもの発言を拾いながらやり取りをしてくださり、ヒョーコマーズさんを身近に感じ親しみを持って関わる姿が見られ、演奏会後にはヒョーコマーズさんの似顔絵や手紙をかく子どもの姿がありました。ひょうたん楽器の演奏や素敵な歌、ヒョーコマーズさんとのやり取りを楽しみながら、感受性を豊かにする経験につながりました。



【今年度のまとめ】

コロナ禍が明け、中止していた事業を再開したり、取組の形や内容を改めて見直したりしながら事業に取り組むことができました。地域の方には、子ども達の園での遊びや生活の様子を見ていただき、こども園の教育・保育を知ってもらう機会となりました。今後も地域の方を身近な存在と感じ、開かれたこども園となるよう、地域の方と共に歩んでいきたいと思います。

【来年度に向けて】

地域の方の教育力を活かした取組が引き続き行えるように、今年度の経験をもとにさらなる事業を検討します。また、子どもにとりより良い豊かな体験が重なり学びが深められるように、地域・こども園・家庭が連携を図り事業を計画し進めていけるよう努めます。

めざす子ども像

- みんなと力を合わせ、なかまと共に高まっていく子ども
- 「学ぶ力」「生きる力」を身につけ、生活や将来に活かせる子ども
- 感性豊かで、たくましく自立する子ども
- 地域で学んだことを誇りに思い、地域に貢献できる子ども
- 共に汗して働くことのできる子ども

取組目標

豊かな心をもち自他共に大切にしながらたくましく生きぬく幼児を育成する。

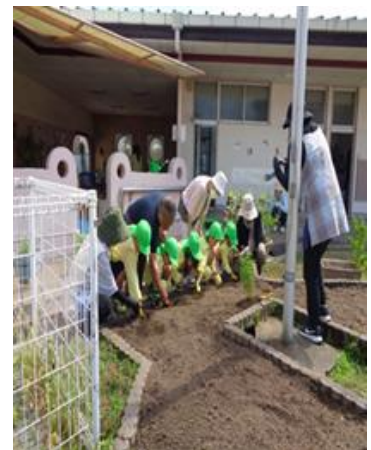
【今年度の取組紹介】

コロナも明けお茶会については回数を前年度より増やして行いました。

5歳児を中心に行い、途中で4歳児が見学し、最終会には4歳児も行い、3歳児は見学しました。渋いお茶に苦戦する子どももおいしいお菓子につられながら一口触れてみました。

3～4歳児は見学の後お部屋に戻ってからお菓子をいただいて来年度のお茶会に期待しています。

花壇の花植えは、民生児童委員の方が来園して下さるランラン広場の時に合わせて子どもとの交流をかねて行いました。畑仕事をしていたらっしゃる方が「畑のじいだよ」といって、やさしく教えてくださいくださる場面もあり、温かな時をもてました。



【今年度のまとめ】

お茶会では子どもたちに名前呼びかけくださり、子どもたちも民生児童委員の方に話しかける場面が多々ありました。花植えでは、次の来園の時に花の生長をこどもと共に楽しむ共通の時間交流がもてました。

【来年度に向けて】

今年度は初年度ということもあり、早急に進めてまいりましたが来年度は余裕をもって四季折々の取組が持てるようにしていきたいと思っています。